

第13回西谷地区学校づくり検討委員会

会議概要

開催日時	令和8年(2026年)2月9日(月)15:30~15:45
開催場所	西谷小学校2階 多目的室
出席者	【委員】11名(欠席)7名 【教育委員会事務局】5名
次第・議事	1 開会 2 会議の成立及び公開について 3 報告 (1) 令和8年度特認校制度にかかる募集結果について (2) これまでの取組状況について (3) これからの取組について 4 閉会
会議の主な結果	西谷地区の学校の活性化のために ① 特認校制度の導入 ② 魅力ある特色教育として国際バカロレア教育の導入を要望 この2点を完了したことを以て、本検討委員会としての設置目的を果たせたことを確認し、本回で本委員会を終了する。
会議録(概要)	
委員長	<p>【1 開会】</p> <p>【2 会議の成立及び公開について】</p> <p>本会議は委員の過半数の出席により成立する。委員18人中、現在10名おられるので、会議が成立していることを報告させていただく。(1名遅れて出席、計11名)</p> <p>本日の議事等において、個人情報等に関する事項はないため、公開とする。</p> <p>本日は2人の傍聴希望者がおられるのでご報告する。</p>
事務局	<p>【3 報告】</p> <p>(1) 令和8年度特認校制度にかかる募集結果について</p> <p>～資料に沿って説明～</p> <p>(2) これまでの取組状況について</p> <p>～参考資料に沿って説明～</p> <p>(3) これからの取組について</p> <p>まずこの西谷地区学校づくり検討委員会の役割も含めて、少しお話する。</p> <p>平成28年(2016年)の3月に、教育委員会で「宝塚市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定した。この中で、西谷小・中学校に</p>
事務局	

	<p>については、過去に分校を廃校してきた経過及び近隣に学校がないことを踏まえ、統廃合といった手法ではなく、西谷小・中学校独自の教育的な価値を高めることによって適正化を図っていこう、地域とともに検討していこうとなった。</p> <p>令和４年度から西谷小学校における複式学級が始まった事態を受けて、この西谷地区学校づくり検討委員会が設置され、令和５年１１月に第１回目の会議を開き、今日まで検討してきた。</p> <p>まずは南部の方から子どもたちを受け入れるための間口を広げていこうということで、令和６年度に手続きを開始し、令和７年度から特認校制度を導入した。</p> <p>このときに、会議体を終了するという話もあったが、もう少し教育の特色を深く掘り下げて考えていきたいというご意見をを受けて、継続して協議を進めてきた。</p> <p>そうした結果を受けて、今年度秋に、国際バカロレア教育（IB）を導入していこうという方向性を決定していただいた、という流れである。</p> <p>今後は、IBについては、教育委員会と学校とIB機構とが、しっかりと連携して取り組むべき事項になってくるため、学校づくり検討委員会としての目的は達成した今、一旦この委員会はここで終わって、今後は教育委員会から地域・保護者にしっかりと説明・報告しながら進めていきたいと思う。</p>
委員長	<p>ただいま説明いただいたことについて、質問があればお願いします。</p>
委員	<p>この会議体が終わって、IB教育についての報告というのは、どこでする予定なのか。</p>
事務局	<p>今すでにコミュニティスクールという組織があるので、基本的にはそこに報告し、そこを窓口として地域・保護者の意見を集約していきたい。</p> <p>かつ大きな取組であるので、できる限り保護者やまち協・自治会連合会等に、説明する機会を作っていきたい。何ヶ月毎にとかではなくて、都度、進捗に合わせて報告させていただくことになろうかと思う。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員長	<p>この会を今日で閉じさせていただきたいと思っている。当初私は委員長の任をお受けして、どのようになっていくのかという不安を強く持ちながら会議に臨んできたが、13回にわたり、皆様方にいろいろと熱心に協議をいただきまして、本当に感謝する。</p> <p>２点申し上げたい。</p> <p>１点目は、この西谷の小・中学校をどうしていくか、残し存続させていく。ではどういう形で存続させていくかということについて、真剣に考えていただいて、協議の中で特認校制度の導入という形、市内全域から子どもたちを受け入れる窓口を開いてもらったということは非常によかったなと思っている。</p> <p>２点目は、やはり迎え入れるのに、この西谷小・中学校が魅力のある学校でないとい</p>

事務局	<p>けないという意見をたくさんいただいた。魅力ある特色ある教育をして、ということだった。特色ある教育は今もうずっとやってきているよというお話をたくさん聞かせていただいた。それはぜひ生かしていきながら、もっと魅力のあるものをという思いを込めて、皆さんの意見をお聞きした中で、こうして提案をいただいたのが国際バカロレア教育である。皆さんのご意見を集約して行って、この結論に導き出せたことは非常に良かったなと思っています。</p> <p>短い限られた期間の中で、ある一定の成果を出してもらえたことは非常にありがたかったなと思っています。</p> <p>今後は、教育の内容になってくるため、専門的な方々のご意見を聞いて、そのご意見をうまく反映させて、実現に向けて行っていただけたら嬉しい。</p> <p>そのためには我々この委員になった皆を含めて、地域全体で、応援できたらなという熱い気持ちを持っている。</p> <p>本当によかったなと、皆さんに感謝申し上げながら、大役を引き受けたお礼のご挨拶とさせていただきます。</p> <p>【4 閉会】</p> <p>これまでの間、ご協力いただき感謝申し上げます。</p> <p>今後も、この会議の場はなくなるが、教育委員会としてしっかり関わっていきたいと思っていますので、引き続きよろしく願います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
-----	--